

大学連携研究設備ネットワーク

(旧・化学系研究設備有効活用ネットワーク)

平成 29 年度大学連携研究設備ネットワークの広報・利用促進を目的とする講習会

～RIGAKU ZSX Primus を用いた蛍光 X 線講習会～

【目的】 大学連携研究設備ネットワークでは本ネットワークの広報と利用促進を目的とした講習会の開催支援を行っています。鳥取大学では全学共同利用設備でありネットワーク登録設備でもあるリガク社製波長分散型蛍光 X 線装置 ZSX Primus を用い、ネットワークの広報と利用を推進するための講習会を開催しています。本講習会では蛍光 X 線についての基礎セミナーと実機を用いた定性・定量分析法の実習を行います。

【蛍光 X 線とは】 固体・液体サンプルに X 線を照射すると、サンプルに含まれる元素に特有の X 線(蛍光 X 線)を放射します。この蛍光 X 線を検出することで定性・定量分析ができます。蛍光 X 線装置は研究開発のみならず製品の品質管理などに利用されています。本装置では 9F～92U までの元素が分析できます。また、蛍光 X 線装置は波長分散型(WDX)とエネルギー分散型(EDX)に大別され、前者は高感度かつ高分解能で、後者は操作性に優れます。なお、本講習会の実習で用いる装置は波長分散型です。

【主催】 大学連携研究設備ネットワーク、鳥取大学生命機能研究支援センター

【協力】 とっとりイノベーションファシリティーネットワーク(TIFNet)

【日時】 2017 年 11 月 6 日(月) 13 時 ～ 7 日(火) 17 時

【場所】 鳥取大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー(VBL)棟 1 階 セミナー室および機器室
(鳥取市湖山町南 4-101)

※6 日のセミナーのみ、米子会場へ LAN 中継します。(申し込み時に会場もお知らせ下さい。)

鳥取大学 研究支援棟 B 2 階セミナー室(米子市西町 86)

【講師】 (株)リガク技術者

【プログラム】

11 月 6 日 13 時～17 時	セミナー	蛍光 X 線の原理、試料調製、 半定量分析基礎
11 月 7 日 9 時～12 時	実習 1	半定量分析応用
13 時～17 時	実習 2	定量分析 メンテ他

【申し込み方法】

- ・定員 セミナー 40 名、実習 若干名(申し込み多数の場合は調整させていただきます)
- ・10 月 31 日(火)までに下記事項を記載の上、メールでお申し込みください

【所属】 学部・学科・研究室等、学外の方は所属機関名

【氏名】

【職名・学年】

【メールアドレス】

【参加希望】 セミナーのみ ・ セミナーと実習 ・ 実習のみ

【問い合わせ・申し込み先】

鳥取大学 生命機能研究支援センター 設備サポート分野

Phone: 0857-31-6013 (内 2768) E-Mail: desp@adm.tottori-u.ac.jp

*ご提供いただいた個人情報は、参加者の事前把握および今後の支援活動の企画立案に利用いたします。

以上